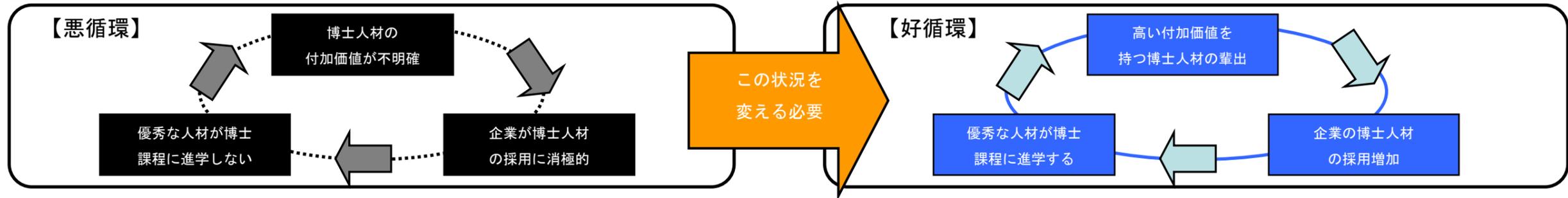


○高度理工系博士人材の必要性の高まり

- 欧米やアジア諸国とのグローバル競争を勝ち抜くには、イノベーション創出の総合力の向上が不可欠
- 特にフロントランナー時代にふさわしい深い専門性と幅広い知識や課題発見能力を持つ理工系博士人材の育成のため、大学の博士課程の教育機能の強化が必要
- 博士の量的拡大を目指すのではなく、質的充実へと大きく舵を切る必要

⇒理工系博士人材をめぐる現状



⇒悪循環を好循環に変える9つの方策

	博士課程への入口 博士課程へ優秀な学生が進学するための施策	博士課程における研究・教育プロセス 博士課程における教育、人材育成の充実のための施策	博士課程の出口 博士号取得者の活用をはかるための施策
<b>大学</b>	<p>①教育理念の明確化と学生の選抜の厳格化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成の理念、方針を確立し学生に徹底する</li> <li>・研究・教育内容の新陳代謝を高め、学生にとって魅力的なものを用意する</li> <li>・授業の英語化など海外の学生も惹きつけられる国際性を持たせる</li> </ul>	<p>④社会のさまざまな分野での活躍を想定した教育活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業を含む多様なキャリアパスを前提とした研究・教育カリキュラム、コースを提供する</li> <li>・教員の教育面の成果を積極的に評価する</li> </ul>	<p>⑦博士号取得者に対する就職支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際競争力を持った博士を輩出するため、出口管理を徹底し、博士の質の確保を図る</li> <li>・博士課程修了者に対する就職支援等を充実させる</li> </ul>
<b>政府</b>	<p>②学生への経済的支援の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金制度の拡充を図る（返済時の税制上の優遇、優秀な学生の学費免除等）</li> <li>・フェロシップやリサーチ・アシスタント等の支援を強化する</li> </ul>	<p>⑤教育への積極的な取り組みに対する支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた教育プログラムやカリキュラムの開発・実施を行う大学への資金的支援を拡充するとともに、新しい教育モデルの他大学への横展開を図る</li> </ul>	<p>⑧ポスドク等が活躍できる産学協同の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競争的資金等を活用してイノベーション志向の産学協同事業を行い、その研究プロジェクトにポスドク等を積極的に参画させる</li> </ul>
<b>企業</b>	<p>③修士課程修了生の採用選考の早期開始の自粛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経団連の「新規学卒者の採用選考に関する企業の倫理憲章」に基づき、採用選考において、学習環境の確保に十分留意する</li> </ul>	<p>⑥企業・社会を実際に学ぶ機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期インターンシップへの協力や博士に対するセミナーの開催等に取り組む</li> <li>・大学のサバティカル制度を活用した人事交流を促進する</li> </ul>	<p>⑨優秀な博士号取得者を積極的に採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた博士人材を積極的に採用する</li> <li>・博士人材の採用、育成、配置等の方針を明確にする</li> <li>・処遇面では成果主義を基本に魅力ある職種、企業とする</li> </ul>

産業界の今後のアクション

- ・理工系博士人材の育成、活用の重要性について、産学官の関係者の意識改革を促すとともに、企業と大学との人事交流の促進、企業による大学教育への支援などの実現に向けて働きかけていく